

令和8年 年頭にあたり

幌延町農業協同組合

代表理事組合長 無量谷 稔



新年あけましておめでとうございます。

2026年新春を組合員皆様と共に迎えられましたことは慶びに堪えない次第であります。

さて、昨年を振り返りますと、依然として世界中の紛争は絶えないところでありますが、特に原油価格の高止まりに大きな影響を及ぼしているロシアのウクライナ侵攻は4年が経過し、我々の生乳生産は長期に渡り大変厳しい状況が続いております。このような状況下、乳価が2度に渡り値上げとなりました。私達にとって少なからず経営の底上げになりましたが、依然として飼料費の高止まりや生産資材の相次ぐ値上げ、電気代金や機械の修理代の高騰等きりが無い程の余波が益々我々を苦しめる状況であります。

政局では大きな変化がありました。政権与党であります自民党が一昨年の衆院選に続き参院選でも過半数を割り、政局が不安定に陥ったため3ヶ月もの政治空白となってしまいました。そんな中26年続いた自公連立は公明党の離脱により、一気に政権交代かとみられましたが、日本維新の会との連立により自民党は政権与党を保持して高市総理が誕生しました。大変厳しい政局でありましたが補正予算も成立し、ガソリンに掛かっていた暫定税率が昨年末で廃止になり、また軽油は4月から17円程度の暫定税率が廃止される事は、私共の飼料生産において大変良い情勢になろうかと思えます。

また、昨年は一番草の収穫が比較的順調に進み今年はこのまま行くのかと思われましたが、8月17日と26日の2度に渡り私共が経験した事のない大雨に見舞われました。泥水に浸かった二番草の収穫は絶望的状況であり、雨水が流入し牛舎が浸水した組合員もありました。特に2度目の大雨は深刻であり延べ約2,000haにおよぶ浸水被害となりました。このような状況を鑑み、またこの大雨が激甚災害に指定されたことを受け、幌延町に迅速な支援の要請をさせていただきました。幌延町より年内にご支援いただきましたこと誠に感謝を申し上げますとともに、被害に遭われた組合員の皆様には改めてお見舞い申し上げます。我々も皆様の1日も速い復旧に努めて参りたいと思えます。

現在、乳価改定に向けホクレンは乳業メーカーとの協議を続けているところではありますが、値上げにより消費減退が続いており、令和7年の年度末にはおよそ6万+近い生乳の補給金がなくなる状況であります。この便りが皆様へ届く頃までには道酪対を通じ解消出来るよう交渉を進めて参りたいと思えます。

まだまだ私共の状況は厳しい情勢ではありますが、今年1年皆様が健康でありますと共に、素晴らしい年になるよう役職員一同尽力する事をお誓い申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。